



JICA 中国  
第 1 回国際教育研修会  
**12 年後の  
地球を考える**

～ワークショップで知ろう！  
私たちの生活と SDGs～

日時：**2018** 年 **6** 月 **24** 日（日） **10:00～16:10**

場所：ひろしま国際プラザ（JICA 中国） **3** 階 **306** 研修室  
（〒739-0046 広島県東広島市鏡山 3-3-1）

定員：60 名

対象：教員、学生、国際教育に関心のある方

参加費  
無料



主催：独立行政法人 国際協力機構 中国国際センター（JICA 中国）

後援：広島県教育委員会、広島市教育委員会、岡山県教育委員会、  
岡山市教育委員会、鳥取県教育委員会、島根県教育委員会、  
山口県教育委員会

# プログラム

## <講義とワークショップ> 「『開発』って、そもそもどういう意味??」

荒川 共生さん (特定非営利活動法人 ボルネオ保全トラスト・ジャパン 理事)

10:00  
~  
12:10

SDGsのDはDevelopment=開発の意味。でも開発協力、駅前再開発、開発教育…とあちこちで使われるこの言葉、ちょっと難しくないですか?  
持続可能な開発を理解するため、まずは「開発」という言葉をあらためて考えます。  
また、基本的な参加型学習の方法も学びます。

## <ワークショップ> 「SDGsを身近に感じよう」 新川 美佐絵 (JICA 中国 職員)

国連で採択、と聞くだけで「SDGsなんて自分に関係ない遠い出来事」と思っていないですか?  
実は私たちの日常生活とも密接につながっているSDGs。簡単な参加型手法を通じて、SDGsをちょっと身近に感じる時間です。

13:10  
~  
15:10

※申込時に参加を希望する分科会を選んで下さい。



## <分科会①> 「生物多様性について~ボルネオの森から考える環境と人権~」

荒川 共生さん

遠い外国の森での出来事が、私たちの生活と密接につながっていたら…。生物多様性と人権問題がどうつながるの?  
地球規模の問題を身近にとらえ、SDGsという多角的な視点から環境問題を考えます。

(会場: 3階 セミナールーム 1&2)



## <分科会②> 「教育について~モザンビークと日本 教育現場での実践から~」

舟木 耕太さん (福山市立培遠中学校 教諭 / JICA 教師海外研修過年度参加者 / 青年海外協力隊現職教員特別参加制度 活用)

青年海外協力隊として派遣されたモザンビークの教育事情や日本の教室での出来事まで、SDGsを通して教育の問題を考えます。

(会場: 2階 プリーフィング・オリエンテーションルーム)

15:30  
~  
16:00

## <ふりかえり> 荒川 共生さん

2つの分科会での気づき、学びを参加者間で共有します。(会場: ひろしま国際プラザ ロビースペース)

## 【お申込み方法】

「お名前」「職業」「所属先(教員の方は校種・担当教科、学生の方は所属学部・学年)」「住所」「E-Mail」「希望する分科会」をご記入の上、件名を「国際教育研修会申込」としてE-mail(電話/FAXも可)でお申込み下さい。

※分科会の希望は先着順です。人数により、参加する分科会を調整させて頂くことがありますので、あらかじめご了承ください。

## 【お申込み・お問合せ先】

JICA 中国 市民参加協力課 (担当: 新川)

E-mail: [cictpp@jica.go.jp](mailto:cictpp@jica.go.jp) TEL: 082-421-6305

FAX: 082-420-8082

## 【会場アクセス】

JR 山陽本線「西条駅」より無料シャトルがあります。ご利用下さい。  
お車での来場も可能です(無料駐車場あり)

